

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日
公告方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問合せ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・お取扱店をご利用下さい。	単元未満株式の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡下さい。

決算情報のご案内

決算情報は、当社のホームページに掲載しております。

<http://www.sysken.co.jp/>



本 社

〒862-0976 熊本市九品寺三丁目15番7号
電話 096-372-1111(代表) FAX 096-373-0127

第58期 SYSKEN'S Report

平成22年4月1日→平成23年3月31日



SYSKEN 企業理念

品質方針
「お客様の
満足を得る」
設備、サービスを
提供する

社 是
我社は
最大の誠意を以て
最良の技術を
提供せむことを欲す

経営方針
一、志気の高揚
一、品質の向上
一、事故の撲滅
一、原価の低減
一、法令の遵守

SYSKEN 経営ビジョン

ユビキタス社会の進展に向け、信頼の技術と品質を提供する
総合エンジニアリング企業を目指す

シスケンは「SYSKENブランド(Q.C.D.M.S)」の向上に努めます。

Q (クオリティ・品質)

最新の技術力を素早く確保し、どこにも負けない優良でお客様が満足する製品を提供する

C (コスト・原価)

徹底した効率化で裏づけされたコストにより収益の最大化を図る

D (デリバリー・納期)

納期を遵守することでお客様に迷惑をかけないサービスを提供する

M (モラル・倫理)

社内規定の見直しと社員教育により法令を遵守する

S (セーフティ・安全)

人身事故・設備事故・交通事故の撲滅を図る

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの「東日本大震災」により、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧を表心よりお祈り申し上げます。

さて、当社第58期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役社長
柏尾 敬秀

営業の概況 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

◆当社グループの営業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調のうちに推移いたしました。設備投資の抑制、雇用情勢の悪化及びデフレ状態は依然として続いております。さらに、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災の影響により、景気の先行きは不透明な状況となっております。

一方、情報通信分野におきましては、本格的なコビキタス社会の実現に向けて情報通信ネットワークのブロードバンド化・IP化がますます進展するなど急速な変化が続いており、当社の主な取引先でありますNTTグループにおいては、NGN（次世代ネットワーク）や光アクセス通信網、高速無線通信技術（Super3G）などのフルIPネットワーク基盤を活用したブロードバンド・コビキタスサービスの本格展開が進んでおり、平成22年度においては地域イントラネットの整備に関する取り組みも活発化しました。

このような状況の中、当社は従来からの電話系サービスの充実はもちろんのこと、ブロードバンド市場における光サービスの拡大に伴う工事体制の拡充、地域イントラネット工事への本格参入、IP系ネットワークサービスなどトータルソリューション体制の構築に取り組むとともに、安全品質の向上、施工能力の強化及び各種業務の効率化を図ってまいりましたが、当連結会計年度の受注高は262億5千5百万円（前期比98.5%）、と前連結会計年度と比べ若干減少しましたが、完成時期等の違いにより、売上高は277億7千9百万円（前期比104.0%）となりました。

また、利益につきましては、売上高の増加及び施工の効率化等に努めた結果、経常利益は7億7千万円（前期比114.0%）、当期純利益は3億5千3百万円（前期比100.1%）となりました。

◆当社グループの中長期的な経営戦略と対処すべき課題

当社グループは、現在の事業環境及び最新の情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、当社グループのコア事業であります情報通信分野におきましては、お客様のニーズもますます高度化、多様化しておりますので、従来にも増したきめ細かで高品質なサービスでお応えすべく、現場、現物、現実の三つの現を重視した「三現主義」により、今後とも信頼される技術と品質を提供する総合エンジニアリング企業を目指す所存でございます。

また、不透明感が高まる現在の経済状況を鑑み、当社グループが新たに策定した中期計画である「経営基盤の強化・拡充」、「新たな価値の創造」及び「信頼性と透明性の確立」の3つを経営戦略の柱とし、以下の重点方針のもと、収益構造の転換と財務体質の強化を図ってまいります。

1. 経営基盤の強化・拡充
 - ・ 利益率を重視した受注の確保
 - ・ 生産性向上、コスト削減による安定収益の確保
 - ・ 成長領域へ経営資源をシフトし受注の確保
 - ・ 品質及び営業力・技術力等強化に向けた人材育成
2. 新たな価値の創造
 - ・ お客様要望に即応できる企業体質へ改善
 - ・ 新規成長分野に挑戦し新たなコアビジネスの創出
 - ・ グループシナジーの発揮
3. 信頼性と透明性の確立
 - ・ 基本作業とプロ意識の醸成
 - ・ 法令遵守・情報適正利用の徹底等、CSRの推進

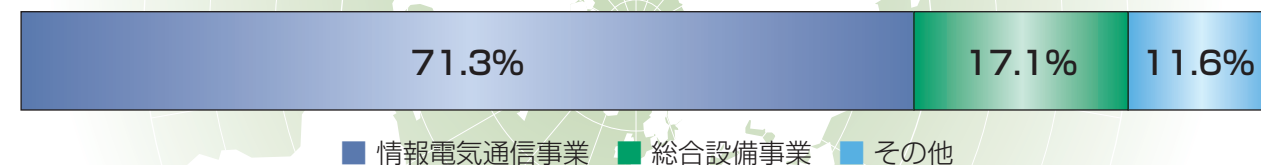
当期の受注高等

■ 当社グループの当期の受注高・売上高・繰越高

(単位：百万円)

区 分	前事業年度繰越高	当事業年度受注高	当事業年度売上高	翌事業年度繰越高
情報電気通信事業	7,737	18,794	19,812	6,720
総合設備事業	937	4,241	4,749	429
その他	12	3,219	3,218	13
合 計	8,687	26,255	27,779	7,163

売上高構成比



■ 当社の当期の受注高・完成工事高・繰越高

(単位：百万円)

区 分	前事業年度繰越高	当事業年度受注高	当事業年度完成工事高	翌事業年度繰越高
情報電気通信事業	7,737	18,794	19,812	6,720
総合設備事業	793	3,616	4,019	390
その他	-	648	648	-
合 計	8,531	23,060	24,479	7,111

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

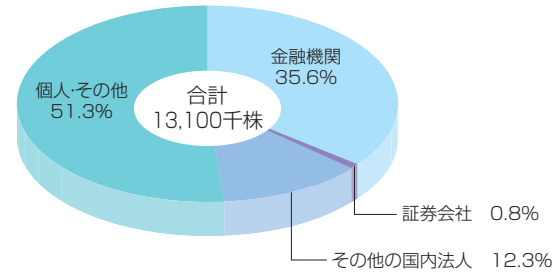
- 発行可能株式総数 48,400,000株
- 発行済株式の総数 13,100,000株
- 当事業年度末の株主数 1,149名
- 上位10名の株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
西日本システム建設従業員持株会	1,088	9.02
第一生命保険株式会社	1,001	8.30
日本生命保険相互会社	905	7.50
株式会社肥後銀行	598	4.96
みずほ信託銀行株式会社	435	3.60
住友生命保険相互会社	403	3.34
西部電気工業株式会社	281	2.33
株式会社コミュニチュア	260	2.15
株式会社りそな銀行	259	2.14
石兼雅之	221	1.83

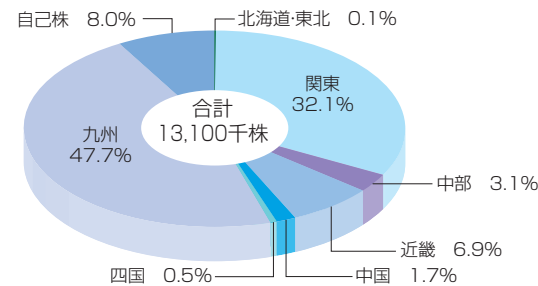
(注) 1. 当社は、自己株式1,046,935株を保有しておりますが、上記株主からは除外しております。

2. 持株比率の計算において、自己株式を控除しております。

◆所有者別株式数分布状況



◆地域別株式数分布状況

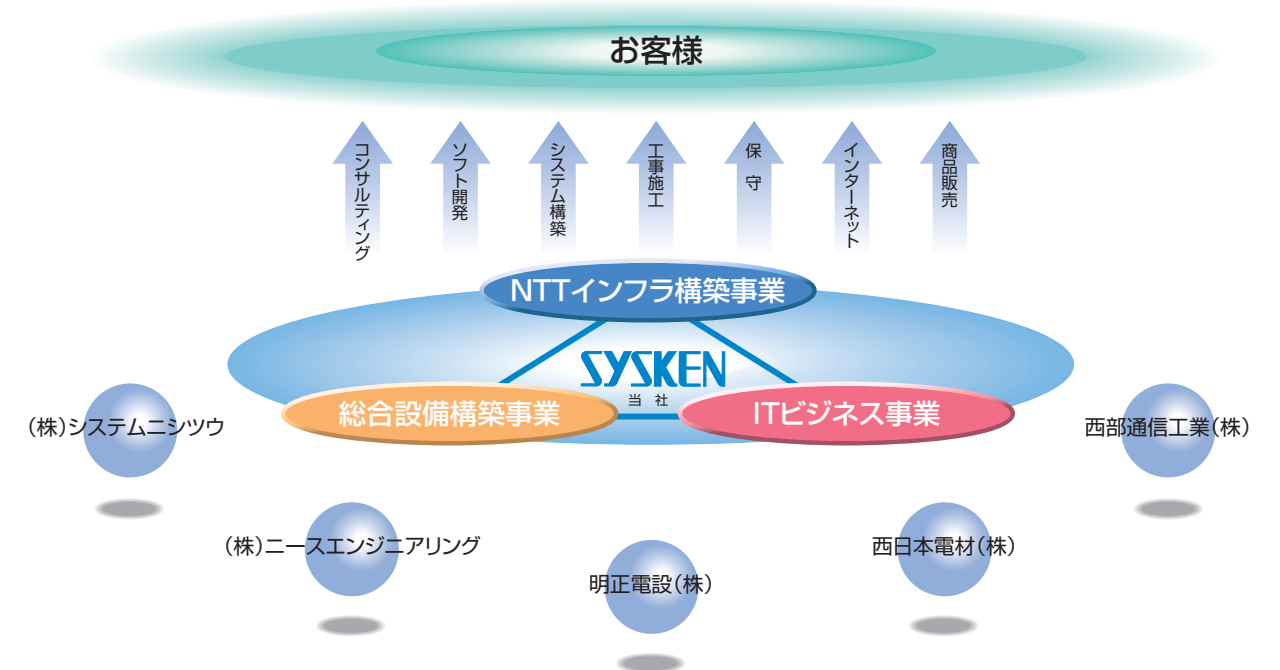


企業結合の状況

◆重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
西日本電材株式会社	40百万円	100%	電気通信材料・工具の販売並びに通信機器リース
株式会社システムニシツウ	40百万円	100%	システム導入のコンサル、開発並びにIT機器の販売、構築、設定
明正電設株式会社	25百万円	100%	電気通信工事の施工

◆シスケングループの概況



連結財務諸表（要旨）

◆連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別		科目	期別	
	当期 (平成23年3月31日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)		当期 (平成23年3月31日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	11,975	10,812	流動負債	8,514	7,659
固定資産	7,143	7,356	固定負債	2,219	2,303
有形固定資産	3,012	3,104	負債合計	10,734	9,962
無形固定資産	145	201	(純資産の部)		
投資その他の資産	3,985	4,049	株主資本	8,349	8,117
			資本金	801	801
			資本剰余金	560	560
			利益剰余金	7,248	7,016
			自己株式	△260	△259
			その他の包括利益累計額	35	89
			その他有価証券評価差額金	35	89
資産合計	19,119	18,169	純資産合計	8,385	8,207
			負債純資産合計	19,119	18,169

◆連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	
	当期 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)	前期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)
売上高	27,779	26,719
売上原価	25,330	24,283
売上総利益	2,449	2,436
販売費及び一般管理費	1,926	1,971
営業利益	523	464
営業外収益	288	236
営業外費用	41	24
経常利益	770	676
特別損失	53	35
税金等調整前当期純利益	717	640
法人税、住民税及び事業税	291	269
法人税等調整額	72	18
少数株主損益調整前当期純利益	353	-
当期純利益	353	352

◆連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	
	当期 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)	前期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	248	△102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65	220
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	127	△28
現金及び現金同等物の期首残高	1,033	1,062
現金及び現金同等物の期末残高	1,160	1,033

◆連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他包括利益 累計額合計	
平成22年3月31日残高	801	560	7,016	△259	8,117	89	89	8,207
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△120		△120			△120
当期純利益			353		353			353
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△53	△53	△53
合計	-	-	232	△0	231	△53	△53	178
平成23年3月31日残高	801	560	7,248	△260	8,349	35	35	8,385

個別財務諸表（要旨）

◆貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	当期 (平成23年3月31日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)		当期 (平成23年3月31日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	10,265	8,994	流動負債	7,637	6,684
固定資産	5,750	6,077	固定負債	1,934	2,021
有形固定資産	2,751	2,819	負債合計	9,572	8,706
無形固定資産	139	204	(純資産の部)		
投資その他の資産	2,859	3,052	株主資本	6,416	6,285
			資本金	801	801
			資本剰余金	560	560
			利益剰余金	5,314	5,182
			自己株式	△259	△258
			評価・換算差額等	26	80
			その他有価証券評価差額金	26	80
資産合計	16,015	15,071	純資産合計	6,443	6,365
			負債純資産合計	16,015	15,071

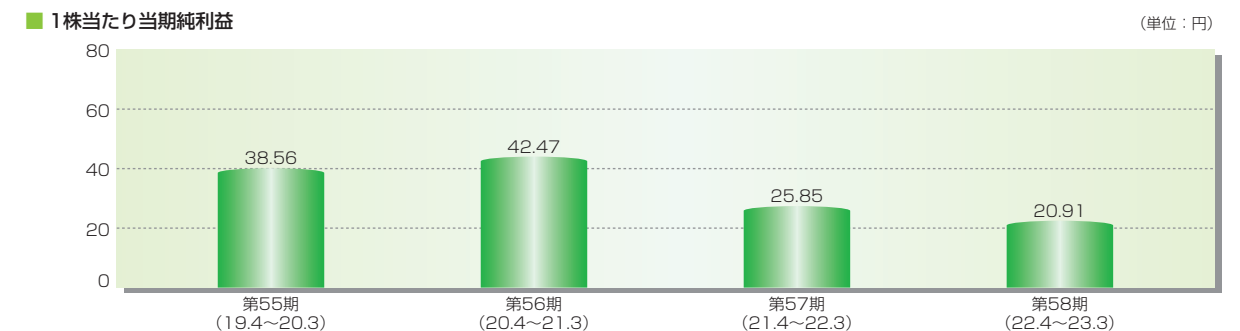
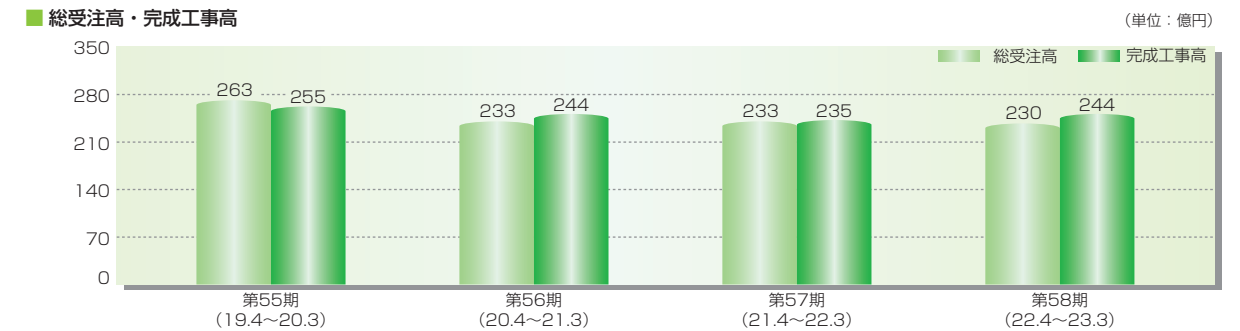
◆損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)	前期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)
完成工事高	24,479	23,516
完成工事原価	22,658	21,595
完成工事総利益	1,821	1,921
販売費及び一般管理費	1,473	1,528
営業利益	347	392
営業外収益	223	203
営業外費用	29	19
経常利益	540	577
特別損失	30	30
税引前当期純利益	510	547
法人税、住民税及び事業税	181	230
法人税等調整額	77	4
当期純利益	252	312

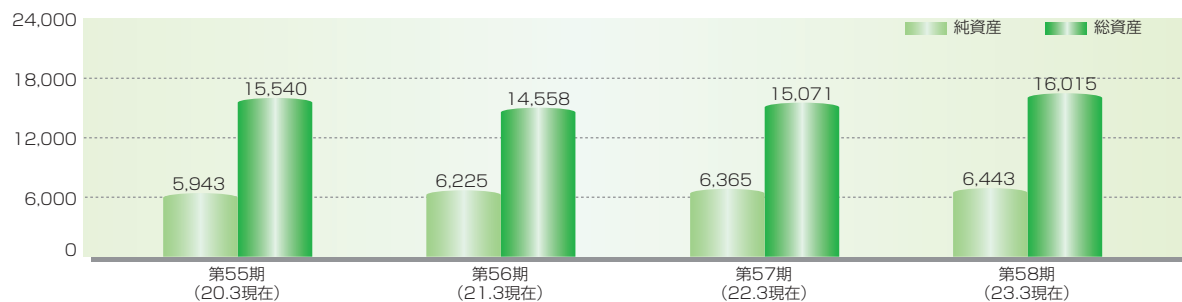
財務ハイライト（個別）

◆業績の推移



財務ハイライト（個別）

■ 純資産額・総資産額



■ 1株当たり純資産額



◆ 株主資本等変動計算書

当事業年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価 差額金		評価・換算 差額等 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金						利益 剰余金 合計
平成22年3月31日残高	801	560	560	200	24	4,400	557	5,182	△258	6,285	80	80	6,365
連結会計年度中の変動額													
固定資産圧縮積立金の取崩					△0		0						
別途積立金の積立						200	△200						
剰余金の配当							△120	△120		△120			△120
当期純利益							252	252		252			252
自己株式の取得									△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）											△53	△53	△53
合計	-	-	-	-	△0	200	△68	131	△0	130	△53	△53	77
平成23年3月31日残高	801	560	560	200	24	4,600	489	5,314	△259	6,416	26	26	6,443

トピックス



家庭のテレビに接続して、簡単にインターネットが楽しめる「ブラウザBOX」の協業開始しました。



環境へ配慮した取組みを強化すべく、太陽光発電設備工事（壁設置型）やLED照明の普及に貢献しています。



平成23年度は、22名の若者がシステクに入社しました。



（社）情報通信エンジニアリング協会主催の「第6回光通信工事技能競技会」が開催され、架空部門で3位に入賞しました。



今年3月に発生した東日本大震災に際して電話回線の復旧工事に人員を派遣したほか、当社グループでは、社会貢献活動の一環として、海水浴場の清掃活動、通学路の樹木伐採等にボランティアとして参加しました。



会社の概要 (平成23年3月31日現在)

設立年月日	昭和29年9月10日
発行可能株式総数	48,400,000株
発行済株式の総数	13,100,000株
資本金	801,000,000円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●電気通信設備・設計・施工・保守・コンサルタント ●情報通信 (PBX、OA) 工事、メンテナンス ●ネットワークソリューション事業 ●グループウェア、各種システム開発 ●LAN、WANイントラネット構築 ●各種通信機器、OA機器販売 ●インターネットプロバイダー ●OCN代理店、NTTdocomo代理店
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部 福岡証券取引所
本店	〒862-0976 熊本市九品寺三丁目15番7号 電話 (096) 372-1111 (代表)
支社	福岡、熊本、鹿児島、東京
支店	北九州、長崎、佐賀、大分、宮崎、関西
従業員数	609名
URL	http://www.sysken.co.jp/

役員 (平成23年6月23日現在)

代表取締役社長	柏尾敬秀
常務取締役	板井次男
取締役	緒方博
取締役	高嶋良光
取締役	片渕康文
取締役	亀澤知昭
取締役	斉藤琢
取締役	東伸之
取締役	安原茂行
取締役	岩下鉄雄
取締役相談役	赤星敦
常勤監査役	香山郁夫
常勤監査役	松本和孝
監査役	福田稠

主要な事業所

本社本館	熊本市九品寺3-15-7	関西支店	大阪市中央区石町1-1-1 天満橋千代田ビル2号館7F
本社別館	熊本市九品寺2-6-57	福岡アクセスセンタ	福岡市早良区次郎丸6-11-46
福岡支社	福岡市早良区次郎丸6-11-46	長崎アクセスセンタ	西彼杵郡長与町高田郷大平1769-8
熊本支社	合志市幾久富建山1909-39	伊万里アクセスセンタ	伊万里市立花町2361-2
鹿児島支社	鹿児島市谷山港1-4-7	熊本アクセスセンタ	合志市幾久富建山1909-39
東京支社	東京都中央区銀座1-14-9 銀座スワロービル6F	別府アクセスセンタ	別府市馬場3組-3
北九州営業支店	北九州市小倉北区東篠崎1-5-1 NTT小倉南ビル3F	中津アクセスセンタ	中津市上如水字沖の坪1781
長崎営業支店	西彼杵郡長与町高田郷岡崎3464	延岡アクセスセンタ	延岡市土々呂町6-1674
佐賀営業支店	佐賀市日の出1-15-11	鹿児島アクセスセンタ	鹿児島市谷山港1-4-7
大分営業支店	大分市田室町8-35	鹿屋アクセスセンタ	鹿屋市高須町3232-1
宮崎営業支店	宮崎市日の出町35		

